

家の中の 化学物質を見直そう



殺虫剤



洗濯洗剤



柔軟剤



消臭剤



芳香剤



アロマオイル

私たちが使う日用品には、さまざまな化学物質が使用されています。特に、においの強い商品ほど、多くの化学物質を発散します。体質によっては微量の化学物質を吸い込んだだけでも、目やのどの痛み、頭痛などがおきることがあります。そこで化学物質に頼りすぎない生活スタイルを考えてみませんか。

「いいにおい」のはずが健康被害？

近年「香りブーム」といわれ「いいにおい」の商品が多く流通していますが、使用して具合が悪くなったという相談が増えています。独立行政法人国民生活センターによると、においに関する相談が大幅に増え、なかでも柔軟仕上げ剤の相談が急増しています。本人以外が使った柔軟仕上げ剤による相談が多いのも特徴です。ラベンダーなどの香り成分が、ぜんそく発作のきっかけになる例もあり、注意が必要です。

国民生活センター相談例

- *柔軟仕上げ剤を使用したところ、せきが止まらなくなり、医師に複数の薬を処方された。(30歳代男性)
- *近隣の洗濯物や電車内等で柔軟仕上げ剤の香料で頭痛や気分が悪くなる。このように苦しむ人がいることを知してほしい。(40歳代女性)

国民生活センターホームページより



シックハウス症候群について相談を受け付けています

お問い合わせ先

世田谷保健所 生活保健課 生活環境衛生
TEL 03(5432)2903 FAX 03(5432)3054

